

コロナ禍 注意すべきは

中京で健康生活講座

さまざまな病気の治療や予防について医師が解説した「健康生活講座」(京都市中京区・京都新聞文化ホール)―撮影・安達雅文



「知って備える病気と治療」をテーマにした健康生活講座(京都新聞主催)が5日、京

都市中京区の京都新聞文化ホールで開かれた。4人の医師が新型

コロナウイルスの流行が続く中、健康面で注

生活習慣の変化を指摘し、心不全治療の現状や健診の重要性を語った。洛和会音羽病院の伊藤美幸氏は、産道から子宮などが下がってくる骨盤臓器脱について、手術以外の治療法や予防法を紹介した。

シミス病院の吉田享司氏は脳卒中について「治療は時間との勝負」と強調。「コロナが流行している中、症状があればためらわずに受診を」と語った。京都リハビリテーション病

院の清水鴻一郎氏は、健康平均寿命の延伸を目指すし、公共交通機関を使うなど自然にできる運動の実施を呼び掛けた。(高橋道長)